

植田和子
6月議会
報告会

膨れ上がる併設校予算 不戦の思い新たに

日本共産党
流山北後援会

膨れ上がる併設校予算 不戦の思い新たに

8月4日、朝から暑い日曜日、江戸川台東自治会館に30人がつとめ第9回植田和子議会報告会が行われました。小中併設校計画について、アンケートにとりくみ、市民の皆さんの意見をもちに議会に臨んだことなどが報告されました。そのあとくらしのこと、平和を願う思いなど、集まった皆さんからも、貴重な意見が出されました

北部後援会を代表して、深井後援会長の菊池伍郎さんから参院選の結果とお礼など話されたあと、植田市議から6月議会の報告がありました。

いくらになるが不明!
今回、一番の焦点となった小中併設校計画について、市長は「用地購入と学校建設の契約をUR都市機構と結ぶ」という議

小中併設校計画にかかる金額推移	
計画当初	118億円
今年3月	124億円
8月現在	134億8000万円
今後	いくらか分らない

の皆さんにお知らせしていた金額は当初、118億円ですが、今年3月には124億円になり、今現在さらに増えて134億8000万円となりました。

ただこの金額はまだ確定ではなく、執行部は「これから入札にかけるのでいくらになるのかわかりません」という答弁でした。

日本共産党が取り組んだ小中併設校のアンケートで、市民の皆さんからの意見をもとに議会に臨んだことはとても貴重な経験でした。議会全体もこのアンケート結果を意識しての議論が多く交わされましたが、当局は平気な顔で、当局は平成27年4月開校に間に合わせるという姿勢を譲りませんでした。

また、高齢者福祉センター「森の倶楽部」の施設の改善についての質問は対市交渉（既報）もして改善に向けて動いていることも報告されました。

2013年8月25日
第130号
発行責任者
小倉 卓郎
TEL/FAX
7155-0272
(部内資料)

**加害者の罪から
いじめ防止対策推進
法が公布されたが、子供
の中からいじめを無くし**



報告する植田議員（中央）と参加した皆さん

ここにちは 植田和子とあ
8月12日お疲れ様です。毎日暑いですね。4日の議会報告会に暑い中、たくさんの方においでいただきありがとうございました。議会報告会以降の活動は、高齢者生きがい推進課の今野課長に、報告会参加者からの要求（森の倶楽部利用について）を伝えました。その後、千葉市で日本共産党の地方議員研修に参加しました。また、選挙のお礼と皆さんの要求を伺う訪問活動、支部長をされた方達に声を出して頂きたい。戦後68年の悲惨さや、苦悩を語り継いで欲しい。思い出すのもいや、話したくない。目をつぶって来た方々にお願ひしたい。美原K
◎私は軍国少年だった。
「兵隊になってテギを殺したい」子供ながら軍国教育を受けて、そう思っていた疑わなかった少年時代。終戦後上野の映画館に行くと、焼夷弾が刺さったまま。明日の米にも困る状況。栄養失調で死んでいく人達。一度とこんな

ていく様になっていない。いじめられた子もいじめた子も心に傷を負っている。地方自治体と警察が密になって隣国主義になって欲しくない。美原Y
◎生活保護を受けている人が就労指導に従わないと生活保護を打ち切られる。「要保護状態」にある人についての市の職員の認識は水際作戦で切り捨てる方向にあるのでは? ころのす台M
◎森の倶楽部でお風呂の時間が長くなったり、喜んでいますが、カーテンをしても暑いので空いている部屋を使うことは出来ないか? 江・東S
◎選挙の結果自民党が大きくなった。憲法を変えて戦争できる国にしない様に、今こそ戦争の体験

**「子どもいじめ」をなくす
小中一貫校を考えるシンポジウム**
8月31日(土) 14時開会
流山市グリーンセンター1・2階

主催: 日本共産党流山市委員会・党市議員

「安全保障の法的基礎の再構築に傾く憲法」なるものが、提言し、「安全保障上日本と密接な関係のある国」が攻撃を受けたら「集団的自衛権」を発動できるようにし、しかもその対象に米国以外にも拡大する提言を盛り込むという▼そもそもの分けりにくい名前の憲法自体が、要するに「憲法九条の解釈を変えてどう骨抜きにするか」という意味だ。始めに結論ありきで、内閣法制局長官の直前で骨抜きして九条を空洞化しようという作戦の一環だ▼警察予備隊を作ったときには「軍隊ではない」と強弁し「自衛隊」と名乗る、戦車や軍艦の名を避けて誤魔化し続けてきたが、その「自衛」と称するものの本質が露骨になってきた▼いま世界はグローバル化し、利害は無数の国と結びつき、どの国とも「密接な関係にある」。密接を理由に一緒に戦争をするというなら、無制限に軍事同盟を認め、この国とも組んで海外で戦争できる。こんなものが「集団的自衛権」であるはずはない。かつて憲法制定の国会で首相吉田茂でさえ「近代の戦争は自衛の名で行われた。自衛戦争を認めるのは有害無益である」と断じた。

安全保障の法的基礎の再構築に傾く憲法
なるものが、提言し、「安全保障上日本と密接な関係のある国」が攻撃を受けたら「集団的自衛権」を発動できるようにし、しかもその対象に米国以外にも拡大する提言を盛り込むという▼そもそもの分けりにくい名前の憲法自体が、要するに「憲法九条の解釈を変えてどう骨抜きにするか」という意味だ。始めに結論ありきで、内閣法制局長官の直前で骨抜きして九条を空洞化しようという作戦の一環だ▼警察予備隊を作ったときには「軍隊ではない」と強弁し「自衛隊」と名乗る、戦車や軍艦の名を避けて誤魔化し続けてきたが、その「自衛」と称するものの本質が露骨になってきた▼いま世界はグローバル化し、利害は無数の国と結びつき、どの国とも「密接な関係にある」。密接を理由に一緒に戦争をするというなら、無制限に軍事同盟を認め、この国とも組んで海外で戦争できる。こんなものが「集団的自衛権」であるはずはない。かつて憲法制定の国会で首相吉田茂でさえ「近代の戦争は自衛の名で行われた。自衛戦争を認めるのは有害無益である」と断じた。

型ネグロス工場跡地に大 の店舗!!期待と不安

8月4日の議会報告会で、参加した東深井の方から、東深井宇東原の「ネグロス電工」の工場跡地に大型のスーパーなどができるが、住宅地で登下校の学童が危険にさらされるのではないかと、また搬入時の騒音や、車

の渋滞など、買い物が便利になるというだけでは済まない問題もあるのでは」との問題提起がありました。地域住民への説明も無いとのことでしたので、住民の皆さんのご意見を聞き、市の対応なども請

土地利用計画板(計業公開版)

フェンスに土地利用計画板が

原発から撤退 今こそ決断を